

# 福島県・宮城県渋滞対策連絡協議会 浜通り地区ワーキンググループ

平成28年3月3日（木） 15：00～

福島県相馬市小泉字高池357

相馬市総合福祉センター（はまなす館）

2階 第3会議室

## 次 第

1. 開会
2. 挨拶（東北地方整備局道路部道路調査官）
3. 議事
  - 1) 設立趣旨について
  - 2) 国道6号、常磐自動車道、県道等の交通状況の分析結果について
  - 3) 想定される対策メニューについて
  - 4) その他
4. 閉会

福島県・宮城県渋滞対策連絡協議会 浜通り地区ワーキンググループ メンバー

区分	所属	役職	備考
国土交通省	東北地方整備局 道路部	道路調査官	会長
	仙台河川国道事務所	事務所長	
	磐城国道事務所	事務所長	
宮城県	土木部	道路課長	
	仙台土木事務所	事務所長	
福島県	土木部	道路計画課長	
	いわき建設事務所	事務所長	
	相双建設事務所	事務所長	
	富岡土木事務所	事務所長	
東日本 高速道路 (株)	東北支社 総合企画部	総合企画課長	
	東北支社 管理事業部	交通技術課長	
	仙台管理事務所	事務所長	
	いわき管理事務所	事務所長	
宮城県警	高速道路交通警察隊 仙台東分駐隊	分隊長	
	岩沼警察署	交通課長	
	亘理警察署	交通課長	
福島県警	高速道路交通警察隊 いわき分駐隊	分隊長	
	高速道路交通警察隊 南相馬分駐隊	分隊長	
	いわき中央警察署	交通第一課長	
	双葉警察署	地域交通課長	
	南相馬警察署	交通課長	
	相馬警察署	交通課長	
市町	いわき市	土木部長	
	南相馬市	建設部長	
	相馬市	建設部長	
	新地町	建設課長	
	浪江町	復旧事業課長	
	双葉町	産業建設課長	
	大熊町	復興事業課長	
	富岡町	復旧課長	
	楡葉町	建設課長	
	広野町	建設課長	
	岩沼市	建設部長	
	亘理町	都市建設課長	
	山元町	まちづくり整備課長	

# 福島県・宮城県渋滞対策連絡協議会 浜通り地区ワーキンググループ 設立趣旨

福島県・宮城県の浜通り地区は、東日本大震災以降、復旧・復興事業、除染作業等の本格化及び常磐自動車道の全線開通等に伴う内陸地域からの交通転換により、国道6号及び常磐道の合計交通量は増加しており、一部区間の早朝・夕方において交通混雑が発生している。

また、4月から復興・創生期間に入ることもあり、復興関係のみならず、物流や観光の振興に伴い、ますますの交通需要の増加も見込まれている。

そのため、福島県渋滞対策連絡協議会・宮城県渋滞対策連絡協議会にワーキンググループを設置し、下記について関係者での情報共有を図り検討を進める。

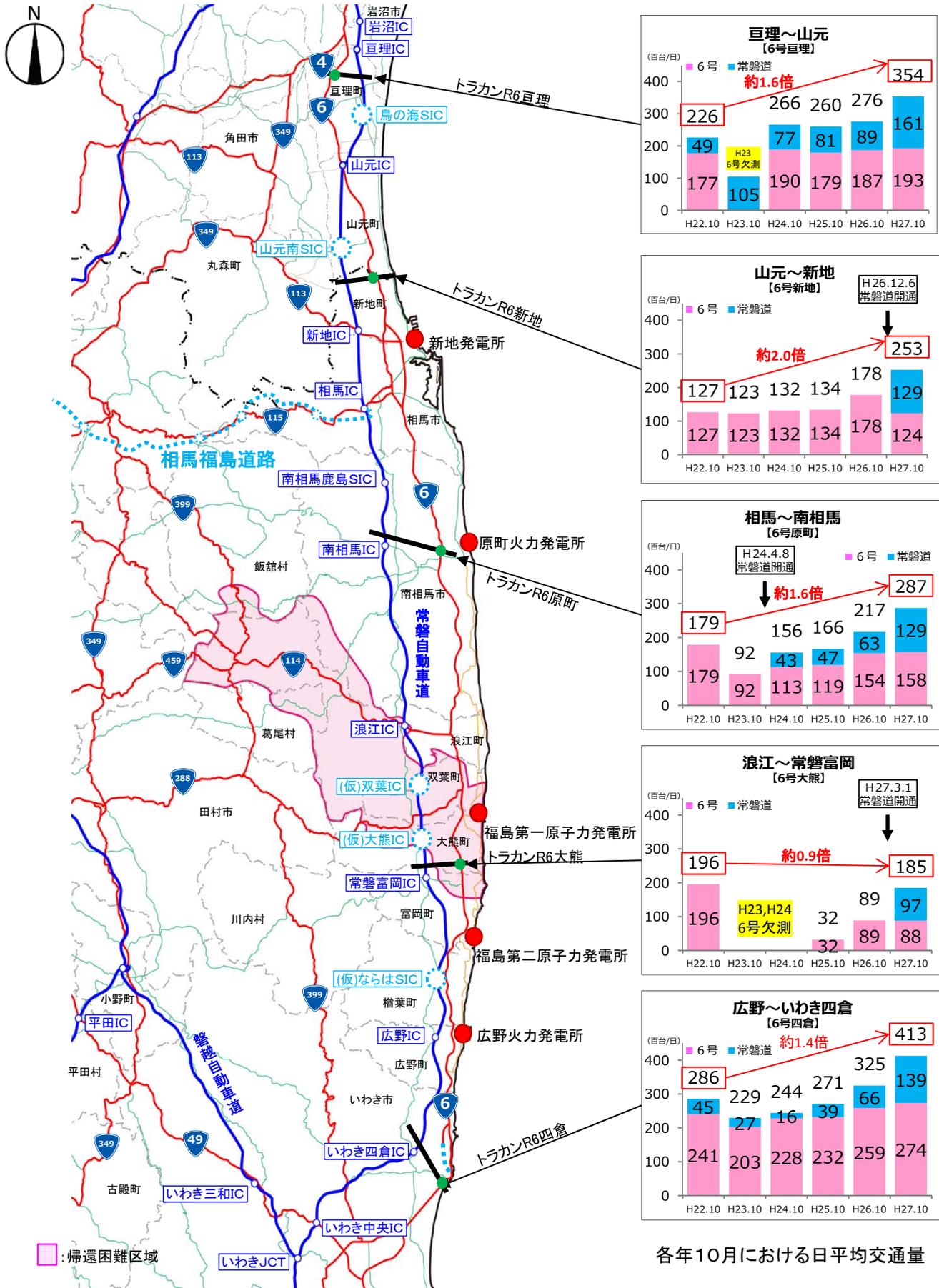
## <対象区間>

福島県いわき市北部地区～宮城県岩沼市南部地区

## <検討内容>

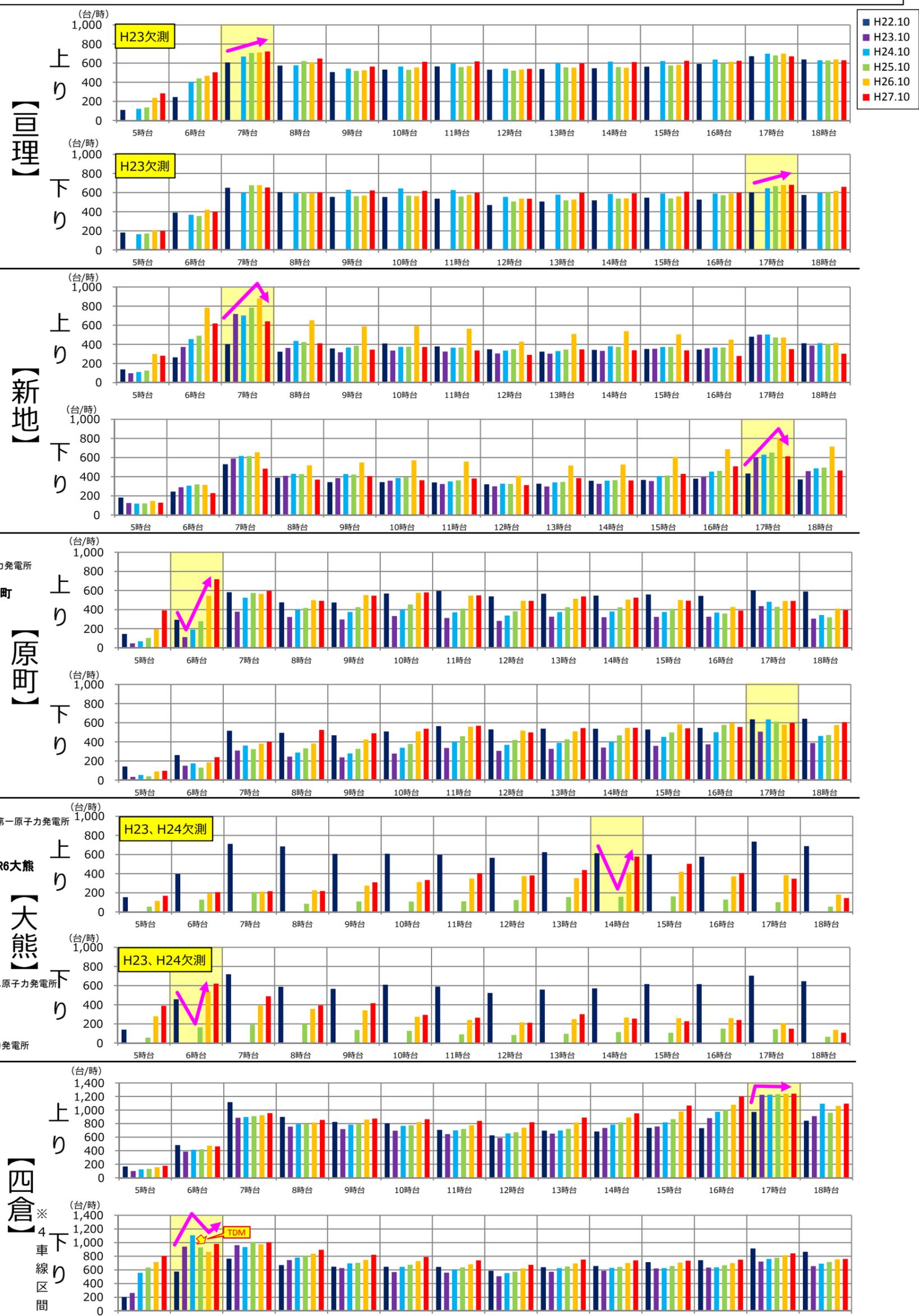
- ①国道6号、常磐自動車道、県道等の交通状況の分析
- ②混雑緩和に向けた対策 等

●東日本大震災以降、復旧・復興事業等の本格化及び常磐道の全線開通等に伴う内陸地域からの交通転換により、帰還困難区域を除く国道6号及び常磐道の合計交通量は1.4～2.0倍増加



# 国道6号の時間別交通量の推移

- 東日本大震災後、原町以北では朝方に上り方向・夕方に下り方向、大熊以南では朝方に下り方向・夕方に上り方向のピークが発生
- 多くの箇所ではピーク交通量は震災前より増加しており、常磐道開通やTDM等による減少が見られる箇所があるものの、増加傾向が継続



出典: 各年10月平日 常時観測交通量データ

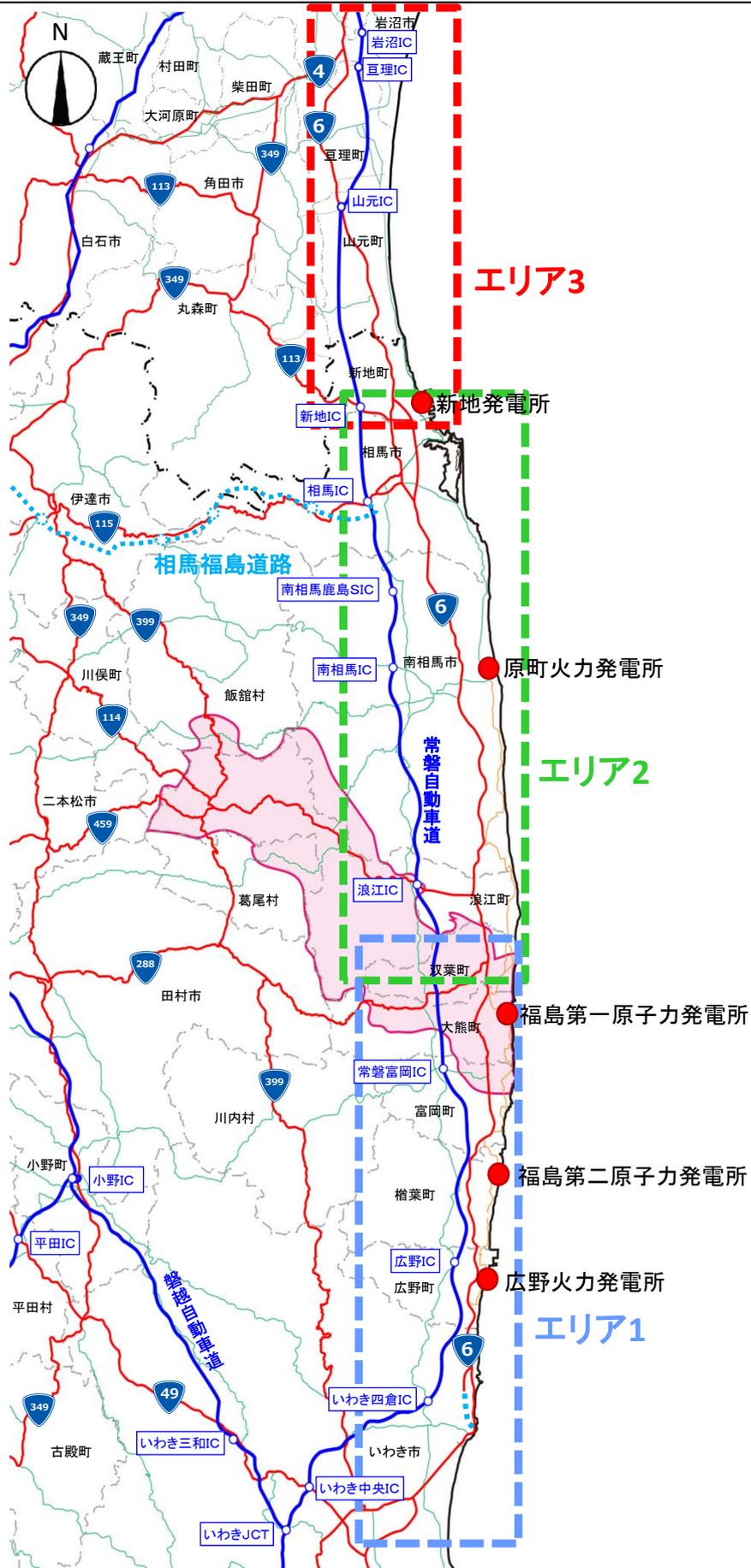
国道6号四倉は4車線区間であり、他区間と比べ交通量が多いことからグラフ最大値を1,400台/時に表現した

# 道路整備の状況

- 国道6号では、久之浜バイパスが平成28年度供用予定、その他交差点改良等4箇所整備中
- 常磐道では、平成31年度までに復興ICを2箇所整備、スマートICを3箇所整備
- 県道等では、通行規制区間解除に向け、道路嵩上げやバイパスを整備

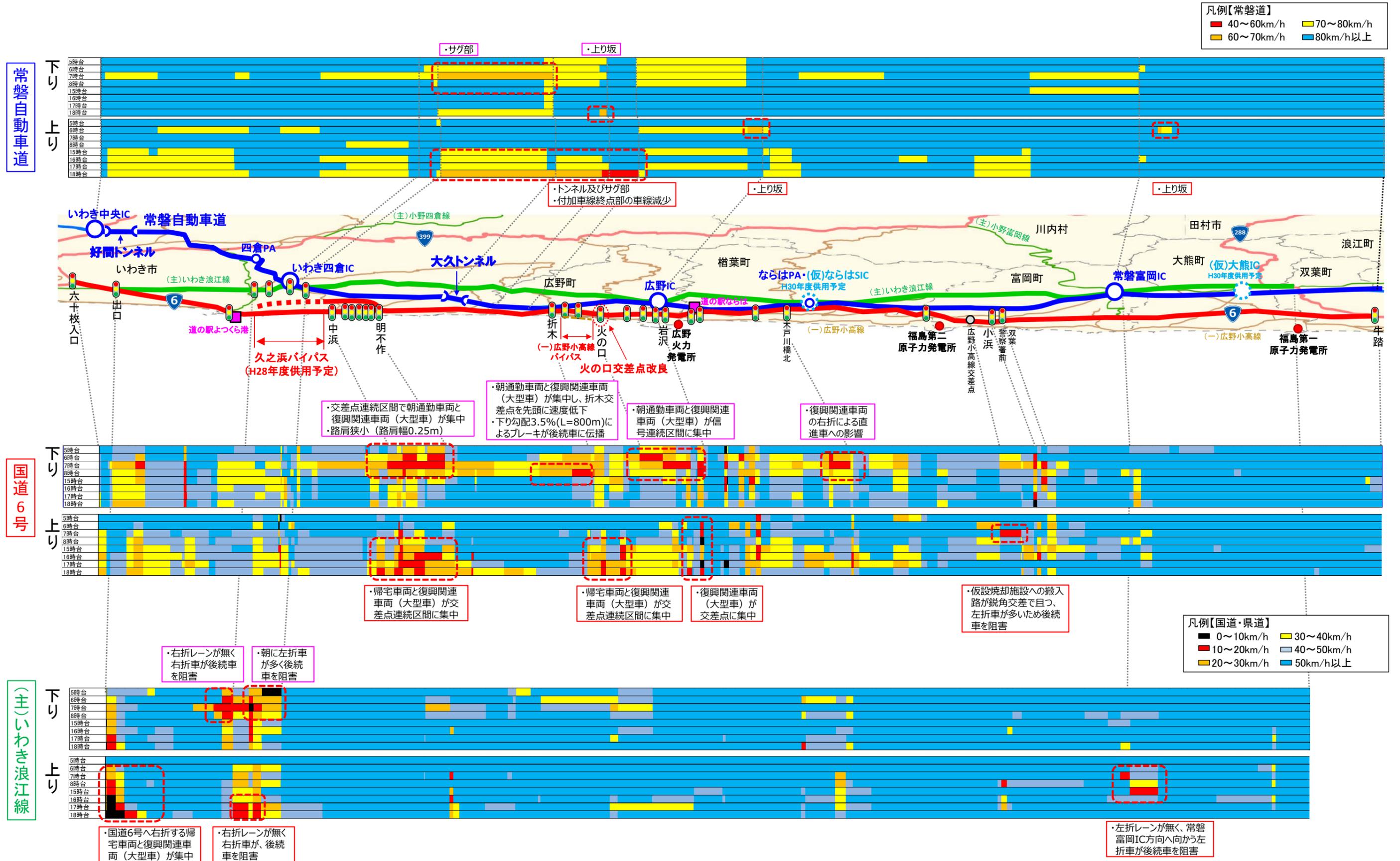


●福島県・宮城県浜通り地区を、エリア1(いわき市～双葉町)、エリア2(双葉町～新地町)、エリア3(新地町～岩沼市)に分割し、国道6号、並行県道、常磐道の旅行速度状況を図示



# 【エリア1】いわき市～双葉町の旅行速度の状況

- 国道6号では、いわき市久之浜や広野町、檜葉町で朝夕に大型車が集中し信号交差点の連続区間等で速度低下が発生
- (主)いわき浪江線では、いわき四倉IC周辺で朝夕に右左折車が後続車を阻害して速度低下が発生
- 常磐道では、大久トンネル、サグ部及び車線減少部等で速度低下が発生



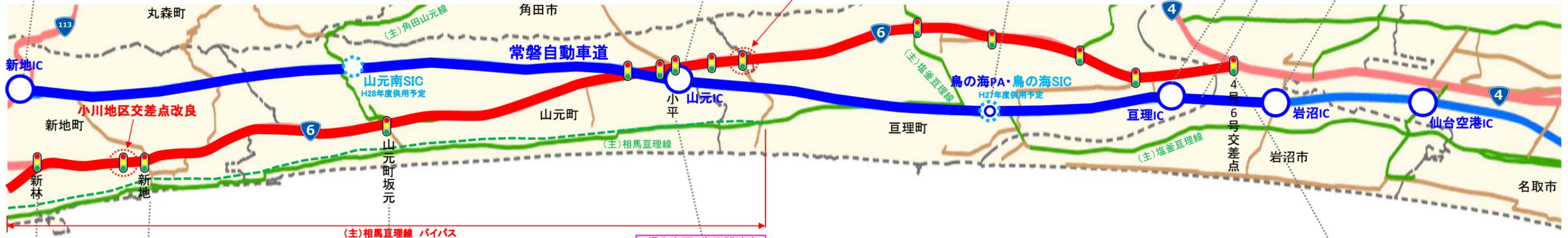
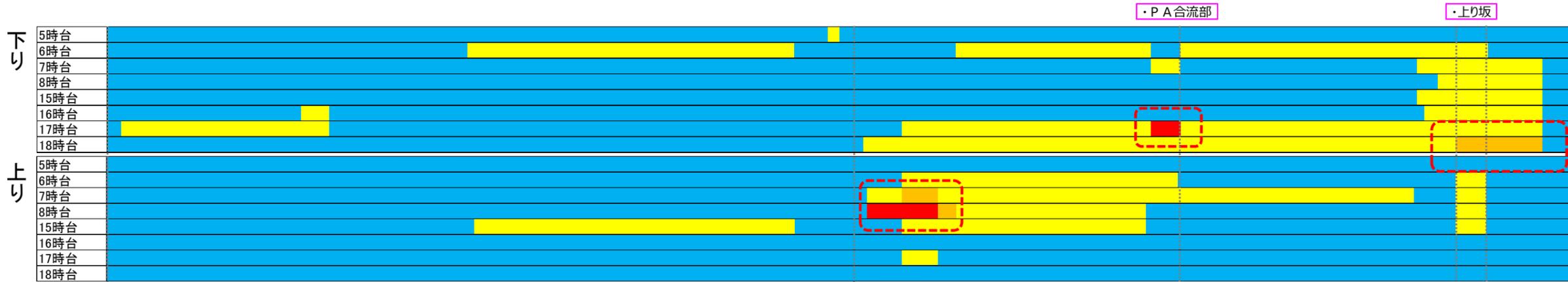


# 【エリア3】新地町～岩沼市の旅行速度の状況

- 国道6号では、山元IC周辺において、ICや周辺施設からの出入り交通の発生による後続車阻害があり速度低下が発生
- 常磐自動車道では、山元IC～岩沼IC間において、朝夕の交通集中により上り坂及びPA合流部で速度低下が発生

凡例【常磐道】  
 ■ 40～60km/h ■ 70～80km/h  
 ■ 60～70km/h ■ 80km/h以上

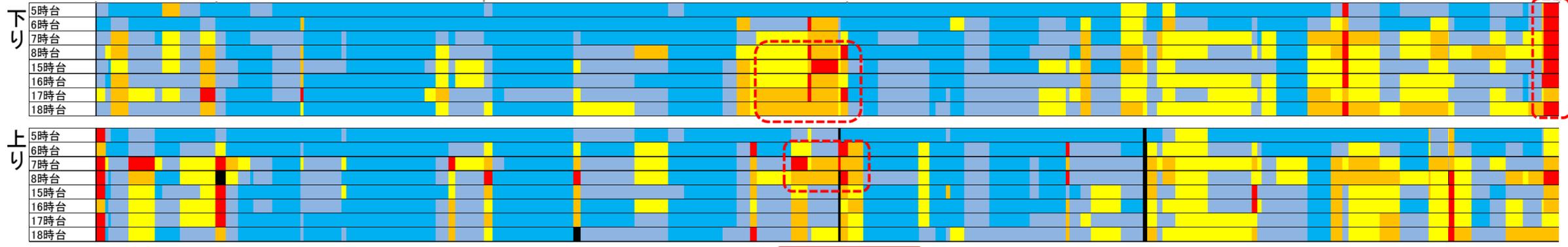
常磐自動車道



・帰宅車両と復興関連車両（大型車）が信号連続区間に集中  
 ・ICまたは施設出入により直進車阻害

・国道4号との合流による信号待ち

国道6号



・朝通勤車両と復興関連車両（大型車）が信号連続区間に集中  
 ・ICまたは施設出入により直進車阻害

凡例【国道】  
 ■ 0～10km/h ■ 30～40km/h  
 ■ 10～20km/h ■ 40～50km/h  
 ■ 20～30km/h ■ 50km/h以上

# 想定される対策メニュー（案）

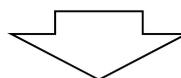
- 渋滞対策は、看板による「速度低下防止」、時差出勤等の「交通需要マネジメント」、車線数の増加等の「交通容量拡大」に分類される

対策種別	対策メニュー	概要
速度低下防止	看板	速度低下や渋滞等に関する注意喚起情報を提供し、速度低下の抑制や、上り坂等の早期速度回復を促す
交通需要マネジメント (TDM)	時差出勤	特定の時間帯に集中する交通需要を異なる時間帯へ移動させることにより混雑の緩和を狙う取組
	通勤ルートの変更	特定のルートに集中する交通需要を異なるルートへ分散させることにより混雑の緩和を狙う取組
	電車通勤への転換	公共交通の利用促進など、自動車利用の転換を図る取組
	作業員宿舍の移動	交通需要自体の低減を図る取組
	パーク&バスライド (バス通勤)	作業員の通勤用バスとパーク&ライド駐車場を整備し、バスへの乗り換えを行い、混雑区間の交通需要の低減を図る取組
交通容量拡大	バイパス整備	市街地通過区間等でバイパス整備を行い、信号連続区間を回避
	車線数の増加	既存道路を拡幅し、車線数を増加
	交差点改良	右左折レーンの新設や延伸を行い、右左折車両発生による後続車阻害を改善
	信号現示調整	混雑方向の信号青時間を延ばし、信号停止による容量低下を改善

# 国道6号(四倉～広野間)のTDMの取り組み

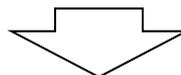
## <震災後>

- 原発・除染作業従事者の居住地はいわき市が中心であり、通勤ルートとして、常磐道と国道6号を利用
- ⇒通勤時間帯に渋滞が発生(広野工業団地入口交差点 渋滞長 2,300m)



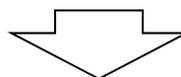
## <平成25年3月>

- 関係機関にて検討会を立ち上げ対策を検討  
(国交省、環境省、福島県、いわき市、広野町、NEXCO、警察 等)



## ○以下の対策を実施

- ①通勤時間の分散(時差出勤やサマータイムの実施)
  - ②ルート分散(通勤ルートの変更)
  - ③交通モードの分散(公共交通の利用促進)
  - ④交通需要の低減(作業員宿舎の移動)
  - ⑤信号現示の調整
- ⇒取組により渋滞緩和(広野工業団地入口交差点 渋滞長 2,300m→0m)



## <～現在>

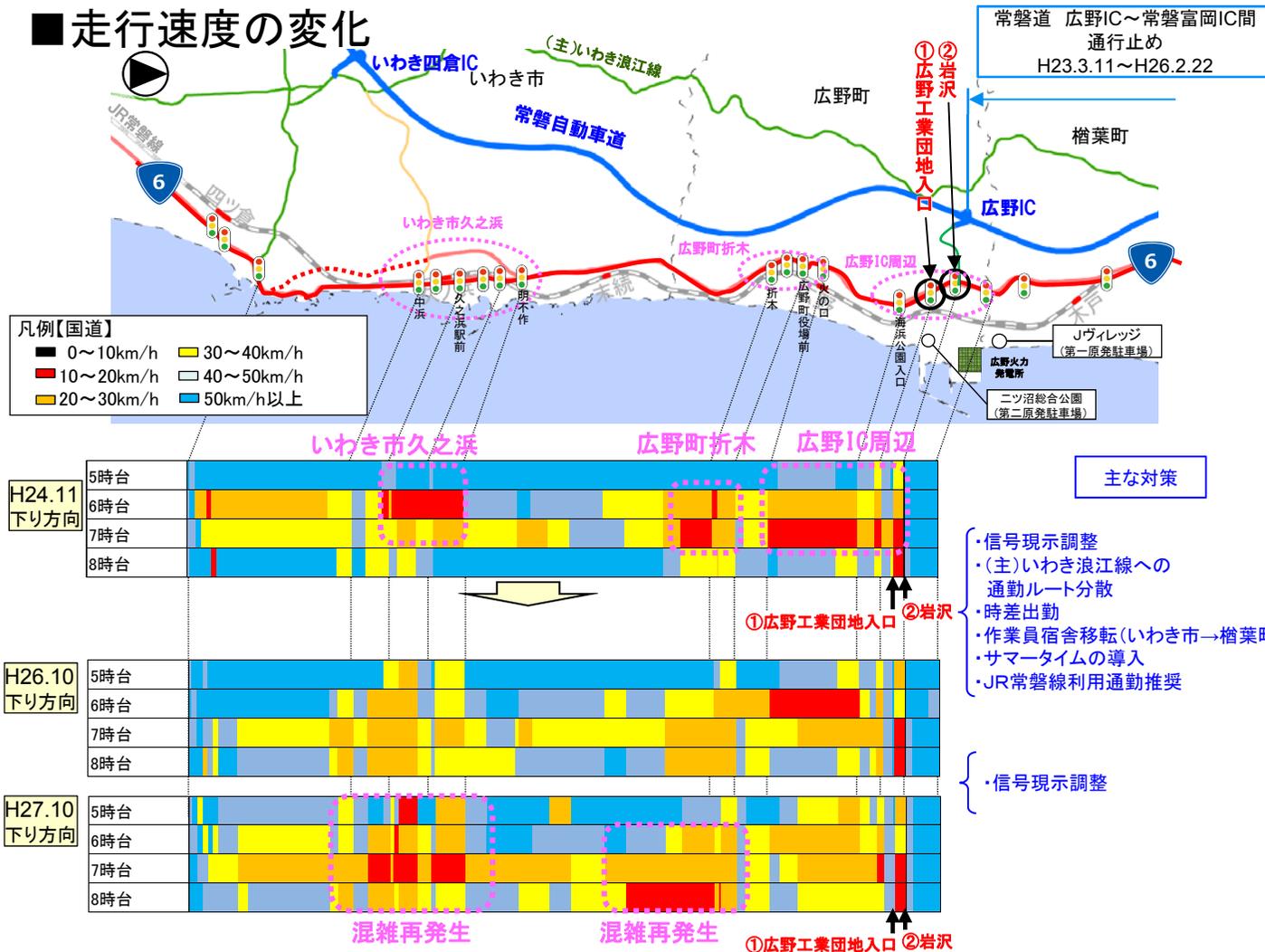
- モニタリングを継続し、必要に応じ追加対策の検討を実施

# 国道6号(四倉～広野間)のTDMの取り組み <結果> 国土交通省

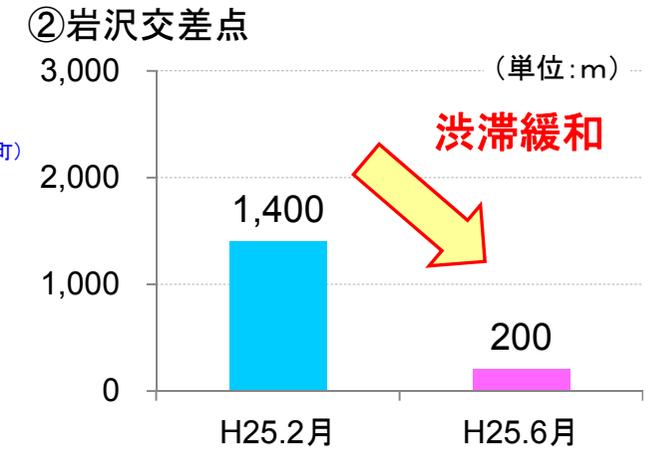
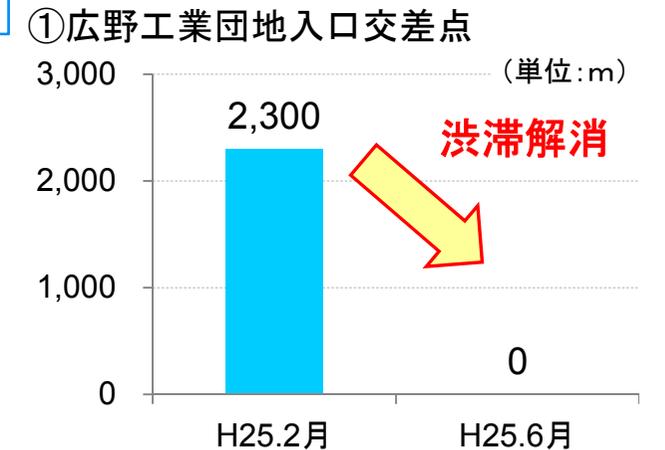
資料6-2

- 平成24年には、広野IC周辺の広野工業団地入口交差点や岩沢交差点を先頭に長い渋滞が発生したが、TDMの取組により渋滞が緩和
- しかし、平成27年にはいわき市久之浜や広野町折木周辺で20km/h未満の箇所が見られる等渋滞が悪化

## ■ 走行速度の変化



## ■ 渋滞長の変化



出典：渋滞長調査結果